

地域志向教育プログラム小委員会

平成 30 年度からのプログラム各科目の開講に備え、平成 29 年度教育改革推進経費により、人文社会科学部地域志向教育プログラム専用の web サイトを業者に発注して制作し、プログラム科目についての情報発信体制を整備した。

本プログラムの 1 年次生向け科目として基盤教育科目「5 学部混合地域 PBLⅢ」を開講した。人文社会科学部 20 人、工学部 2 人の 22 人が受講した。本科目は、茨城県、常陸大宮市の協力で開講しており、4 日間のうち 1 日は茨城県庁で、3 日間は常陸大宮市で授業を行った。

日程	内容
2017 年 9 月 16 日 (土)	ガイダンス、常陸大宮市での授業
2017 年 9 月 17 日 (日)	常陸大宮市での授業
2017 年 9 月 19 日 (火)	茨城県庁での授業
2017 年 9 月 20 日 (水)	常陸大宮市での授業

平成 29 年度人文社会科学部地域志向教育プログラム小委員会委員長：西野由希子

地域プログラム運営小委員会

地域プログラム運営小委員会は、学部共通プログラム運営委員会の小委員会の 1 つであり、平成 24 年度に開始された「地域課題の総合的探求プログラム」の企画や実施を担当している。平成 29 年度は、プログラムの 6 年目であるが、本年度の 1 年次生からは「人文社会科学部地域志向教育プログラム」の受講がスタートするため、主に 2 年生、3 年生、4 年生を対象にプログラムを運営した。4 年生 5 人に対しプログラム修了生として、卒業時に修了証を授与した。本年度、開講・運営した科目は以下の通りである。

(1) 「地域課題入門」(前期・集中講義) 1 年生対象科目

本年度の 1 年次生からは「人文社会科学部地域志向教育プログラム」を受講することになる。本科目は 2 年時以上学生対象に開講し、2017 年 1 月 27 日(土)、28 日(日)、2 月 4 日(日)の 3 日間で実施した。人文学部 3 年生 1 名、理学部 2 年生 1 名、工学部 3 年生 2 名が受講した。

(2) 「地域課題特論 I A」(後期) 2 年生対象科目

本科目は、本プログラムの受講生が履修するプログラム講義科目である。茨城県庁(企画課)の協力により開講している科目で、県庁職員と本運営委員会が協力して企画と運営を行い、講師は県庁職員の方たちにつとめていただいている。22 人が受講した。

今年度は、茨城県との協議により、前半は本県の企業から若手～中堅の職員を招聘し、県内の企業が地域とどのように向き合っているか、また、若手～中堅の県内企業の社員の方たちはどのような考えを持ってそれぞれの仕事に就いているのかなどの内容で講義をいただいた。後半は、広報広聴課の協力も得て、茨城県の広報について講義をいただいた。実地研修では「いばらきマルシェ」を含め、各都道府県のアンテナショップ等の見学・調査を行い、それらをもとに班ごとに「茨城県の PR」について提案をまとめ、発表会を実施して、まとめを行った。

(3) 「地域課題特論 II A」(前学期) 3 年生対象科目

本科目は、本プログラムの受講生が履修するプログラム講義科目である。15 人が受講した。茨城県内で、地域の活性化やまちづくりに取り組む NPO 法人、市民団体などの代表の方たちに講師をつとめていただき、講義を行っていただいたあと、学生の 3 つの班の研究のサポートもお願いした。最後に、まとめとして学生による研究発表会を行った。

「地域課題特論 I A」で、行政側から、地域課題への取り組み方や解決へのアプローチ等を学んだ学生たちが、本科目では、市民は自分たちの地域の課題にどう取り組み、どのような方法でその解決をはかろうとしているのかを学び、また、学生たち自身が地域の課題を発

見できるようになることを目的に、科目を実施・運営した。

2017年6月21日（水）には、茨城県立小瀬高校の要請により、本科目受講生が同校主催の「地域課題の総合的探求講座」に参加し、「常陸大宮市の公共交通の課題と解決」に関して発表を行ったあと、同高生徒と合同のワークショップを行った。

(4) 「地域課題演習」（後学期）3年生対象科目

本科目は、本プログラムの受講生が履修するプログラム演習科目である。履修生17人がチームを組み、テーマをしぼりながら、研究を行っていった。本授業では、まず、「課題」を設定。3つのテーマが選択され、各チームがその課題の解決に向けて、基礎的なデータの収集や分析、討論等を通して、課題解決にむすびつくような内容・方向性の確認を行った。

中間報告として、2017年1月24日（水）に開催されたシンポジウム「新聞マルシェー みんなで考える茨城のシティプロモーションー」（茨城県、茨城新聞社、茨城大学共催）において3つのチームが発表を行った。

春期休業期間にも継続して研究を行い、4年次前学期に「課題解決のための提案、提言」がまとめられるよう指導し、科目の運営を行った。

(5) 「地域課題研究」（前期）4年生対象科目

本授業では、3年次後学期での研究を継続し、受講生5名がチームとなって、課題解決のための提言をまとめた。対象自治体を常陸大宮市に設定し、「常陸大宮市結婚応援プラン」のタイトルで、まとめの発表会での発表を行った。

以上のほか、2017年12月13日（水）に開催された「茨城大学 学生地域活動発表会<はばたく！茨大生>」に、本プログラムも参加し、学生たちが発表を行った。

平成29年度人文社会科学部地域志向教育プログラム小委員会委員長：西野由希子